学校番号	3011

令和8年度 工業科（環境化学システム系）

教科	工業	科目	（学）総合化学実習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	30 時間でマスター office 2021 （実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

総合化学実習は、コンピュータを用いて、現代社会に必要なコンピュータの取扱いやさまざまなアプリケーションやソフトウェアを身に付けるだけではなく、社会人に必要な職業的技能など技術者としての倫理観やプレゼンテーション能力を総合的に学び、産業界を支える人材となることが目標です。専門の教科だけでなく、いままで学んだことを活用し、学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】
・コンピュータやインターネットなどの情報通信ネットワークの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基本的な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
・文章や表などを用いて、プレゼンテーションが出来るような力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用している。 ・目的に応じて情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な技能を修得している。 ・情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身に付けている。 ・情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。	・情報を適切に収集・処理・発信する場合に、方法を工夫したり、目的に応じてその手段や方法を改善したりしている。 ・情報を適切に収集・処理・発信する場合に、情報モラルを考慮している。	・コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持っている。 ・身の回りにある様々な問題の解決を通して、情報を主体的に活用しようと努力している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	Windowsの基礎・文書作成ソフト(Word)の基礎、活用	・Windowsの起動終了 ・アプリケーションソフトの基本操作 ・Wordの起動、日本語入力システム、文字・文章の入力、保存、印刷 ・表の作成と編集、クリップアート、ワードアート、グラフの挿入	a:コンピュータや文章作成ソフトに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:キーボードやマウスなどコンピュータ操作に必要な基本的な能力が身に付いている。 c:文章作成ソフトの基礎的・基本的な技術を身に付けるとともにブラインドタッチなどができている。	・学習状況の観察 ・課題等の提出 ・発表 ・実技テスト ・習熟度の確認 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・課題等の提出 ・発表 ・自己評価・相互評価等	・コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持っている。 ・身の回りにある様々な問題解決を通して、情報を主体的に活用しようと努力している。
2学期	表計算ソフト(Excel)の基礎、活用	・合計の計算 ・行・列の削除、挿入、移動、高さの変更 ・平均の計算 ・最大・最小 ・条件の判断 ・Wordへの Excel の埋め込み	a:表計算ソフトに関心を持ち、用途に応じて適切な資料を作成するために、関数に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。また、教員、グループ員に適時、的確に状況を報告し、意欲的に作業を進めることができる。 b:表計算ソフトに必要な関数が身に付いている。 c:表計算ソフトの基礎的・基本的な技術を身に付けるとともに、必要な関数やグラフの作成ができている。	・学習状況の観察 ・課題等の提出 ・発表 ・実技テスト ・習熟度の確認 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・課題等の提出 ・発表 ・自己評価・相互評価等	・コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持っている。 ・身の回りにある様々な問題解決を通して、情報を主体的に活用しようと努力している。

3学期	プレゼンテーションソフト(Power Point)の基礎、活用	・プレゼンテーションの作成	a:プレゼンテーションソフトに関心を持ち、用途に応じて適切な資料を作成するために、ツールやアニメーションに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。また、教員、グループ員に適時、的確に状況を報告し、意欲的に作業を進めることができる。 b:プレゼンテーションに必要なデータを Word や Excel のデータやグラフを用いて見やすい資料作成能力が身に付いている。 c:プレゼンテーションの基礎的・基本的な技術を身に付けるとともにアニメーションなどのアクセサリなどを用いて見やすいプレゼンテーション資料ができている。	・学習状況の観察 ・課題等の提出 ・発表 ・実技テスト ・習熟度の確認 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・課題等の提出 ・発表 ・自己評価・相互価等	・コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持っている。 ・身の回りにある様々な問題解決を通して、情報を主体的に活用しようと努力している。

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度